

ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360,



USABURO NAITO

2 MUKAIYAMA MYODAIJI CHO
OKAZAKI JAPAN



No. 7 (Dec 15. 1962)

昭和37年12月15日

第360区各ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー

第360区ガバナー

内藤卯三郎

Kindle the spark within

Discover yourself

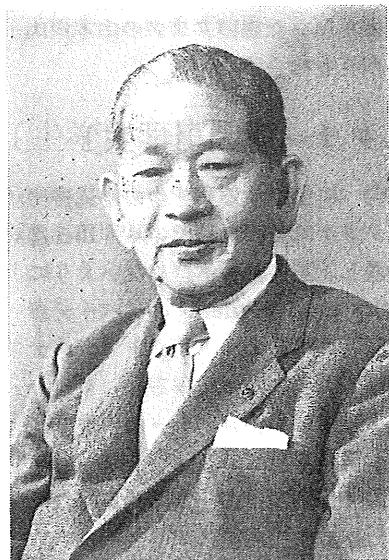
Develop your power

Demonstrate your purpose

— President Nitish C. Laharry —

[年末年始御挨拶]

御かけ様で七月以来、唯々忙しいというだけで、これという御奉仕もできない間に年末を迎えてしました。公式訪問その他、御逢いする度毎に御世話になりましたことを心から感謝申上まして年末年始の御挨拶と致します
幸いに御らんの通り元気で居りますので
御安心下さい。



公式訪問もあと廿三クラブ、インターナショナルエネラルフォーラムも一県だけとなりましたので1963年は地区協議会がすみますと御約束や御求めに応じ、いくらか御奉仕できるかと楽しんで居ります。皆様方のよき御迎年を御祈り致します。

〔ロータリー綱領の邦文について〕

綱領の邦訳文が一定していないことについてジエネラルフォーラムの際提議があつた。これにつき宮脇パストガバナーに照会した結果「1962年度版はすべて統一する」ことがわかつた。

これ迄の経過についてはロータリーの友に宮脇氏がかかれたことがあるそうである。

最初はいろいろの人がまちまちの訳をしたものか何種類も用いられていたそうである。それを何年か前に統一したところが、その後ロータリーの友に手続要覧とちがうものが出て困っていた所へ中央から手続要覧の再版の要請があつて、その際改訂した綱領をのせる筈にしていたところ、印刷の手ちがいで古いものをそのまま入れてしまつたというのである。

要するに原文と対照して少しでも原文に近いように（多少読みにくいことは承知で）改訂したというのである。

これからは、その改訂したものが用いられる筈である。以上は御報告である。

（これについて私は思う）

① 原文の、かなり読める人でも邦訳のある方が何かと便利である。たとえ読みにくくとも邦訳のある有りがたみを自覚したい。

そして当事者の立場を十分理解して上げたい。邦訳のなかつた頃のことを思えば、わかりにくい所は原文について辞書をひいてみる位の同情はもちたいものである。

② 科学書や法律書は邦文のものでも小説やお伽ばなしのようにわかりよいものではない。それと相似たむずかしさまで訳文の罪とすることは酷である。

③ 訳文の責任当事者は大きな犠牲をはらい、少くとも多くの会員よりはその道のベテランであり、少からず努力して

くれているのである。

その苦労に仇でむくいる結果を招いてはなるまい。

④ わかりにくくと酷評されているものでも何回か熟読すれば大ていはわかる。私の経験では、わかりにくかつたところは、みな内容の知識が足りなかつたところである。

⑤ ロータリーそのものが容易にわからない本質をもつてゐる。枝葉の誤字や誤訳からくる、むずかしさよりも、より深いParticipationによる本質の研究が望ましいと思う。

〔地区協議会〕

昭和38年ディストリクト アッセンブリーは4月6日、7日の両日、松本クラブをホストとして行われることに内定した。

〔一色ロータリークラブ承認〕

先きに仮クラブの結成を見ていた一色ロータリークラブは十二月三日付で国際ロータリーへの加入を承認された。スポンサーの西尾クラブ並に特別代表、田中正太氏の御骨折りを厚く感謝する次第である。

尚蔭の応援を頂いた豊橋クラブの山本貞氏にも心から御礼を申上げたい。

〔ロータリー財団奨学生〕

(1964—65年)に留学する奨学生の申込書はスポンサークラブに於て、1963年4月15日迄に書類を完成し、記入洩れが全くないようにして (Rotary club Manual の 7 ページ参照) 附属書類と共にディストリクト ガバナーに送り届けることになっている。

1963年5月1日には必ずガバナーの手許に来ていることが要求されている。

Manual を十分御研究の上なるべく早目に御推薦願いたい。申込用紙はガバナーの手許に届いている。

〔ロータリーの友の購読料〕

今回ロータリーの友の代が10%値上げになりました。

下半期の購読料一人 660円

三井銀行丸の内支店「ロータリーの友編集事務所」口座へお払い込み下さい。

〔荒川長太郎氏及び吉田市郎氏の篤志〕

名古屋クラブの荒川長太郎氏は 200 ドルを吉田市郎氏は 100 ドルを今回ロータリー財団へ個人的に寄附せられた由、この奇特な篤志に対しジョージミーンズ氏から礼状が寄せられた。

〔1963年の世界ロータリー大会〕

明年六月九日から十三日までセントルイスで行われるコンベンションに御出かけの方は早目に登録や旅館の申込をするよう大会マネージャーの K. Tabb 氏からすすめて来ている。申込書はガバナーの所へ10部だけ送り、各クラブへは送らないので、もし足りなければ更に申させとしてあるが、未だ実際には来ていない。最も交通公社へ申込まれれば、その方へは必要に応じて用紙を送ることになっている由である。

〔敬弔〕

尾西クラブの渡辺光彦氏は去る11月9日長逝されました。謹んで御冥福を祈ります。

〔この上ない修養〕

この半年まことによい修行をさせてもらいました。

◎ 手続きのまちがつた書類が来る（これからのこともあるから）と思つて知つている人には馬鹿馬鹿しいようなことを説明して

差上げる。こちらでは（わかつて下すつたかな）と心待ちにしているが、何の返事もない（急いでかいたので失礼な書き方になつたかな）と反省する。しかし人事ではない。自分も祝電のお札を忘たり、物の届いた受取を出さなかつたりしたことを思い出す。「頼んでおいた礼状出してくれたろうね」と家族に尋ねても「どうでしたろう出した筈ですが」としかわからないことがある。よい修養である。

◎ 出席報告が八日の夕方になつても着かぬいクラブがある。電報を出す、電報料のことを家族がいいう。「奉仕できるのだ、ありがたいと思え」と慰める。電話で返事の来るのを待つて夜を更かす、仕事はいくらでもあるので唯ほんやり待つているわけではないが、いろいろのことが想像される（事務の人が忘れたのかも知れない）しかし（人にまかせるという手はない筈である大事な報告である）（幹事さんカバンへ入れて出し忘れたかな）月末に、とも角も一度出しておいてくれれば、それで本部への報告は、おくれさせないですむのだが、訂正は地区内だけのことであるから、9日でも10日でも都合によつては間に合う。（どうして月末に一度出してもらえないだろう）もうおそいかから電話は来ないだろう、と諦めて床に就く。9日の朝になつても未だ来ないクラブがある。（幹事さん不在かも知れない）会あてにもう一度打電する、岡崎クラブの事務所の方へ問い合わせしてみる。（郵便のまちがいかも知れない）いよいよタイプへかかつて打ち始める。打ち終つても統計がとれない。

空欄だけ残して統計を始める。（前月分のでも入れて間に合わすか）という悪心もある、（絶対にいけないロータリーなんだぞ）と自分で打ち消す、（地区の名誉にかかるので、もう1時間しか待てない）（なーに航空機だつて遅れることもある。もう1時間待つとするか）などと思い悩む。誠によい修養である。

◎ ガバナー月報の追注文が来る増刷を大急ぎで頼み来月分からふやすことを頼んでおく。あるクラブからは「来月からは3部だけでよい、これ迄の分はどう計算するか」と尋ねてくる。御返事のしようがない、どうせ儲け仕事でしている訳でわなし、各クラブへ2部ずつ送る実費は本部から来る、それに増頁のこともあり、回数も1年13回以上になることだけは判つているが「必要部数を知らして下さい」と頼んで以来返事のない所へは送金がなくとも会員数だけ送らしてもらつてると、いく月かして「うちでは何部でよいから、それだけの分送金する」と申しこされる。部数が半減した上に前に送つた分は忘れられていることが多い。

人々奉仕して頂いていることであるから、拝んでお布施を頂く心構えでいても4つのテストの皆に公平でなくなる、こんなときは「皆これ奉仕」ということでわりきる外はない。皆に公平でないことが何よりも気になる。数をきつちり示し12ヶ月分送つて下さる所もある。1号2号は見本のように思つて、あの10月分を下さる所もある今だに部数も知らしてもらえず送金のない所もある。ほんとうによい修養である。

◎ 家から最も近いポストまで1キロくらいの距離であるが、冬でも往復すると汗ができる程の急坂である。今日は一日手紙の整理をしてやろうと端から返事を書いていく、大てい日に二三度は家族が外出するので、書けた分はその都度持たしてやるが、急ぎの手紙に、ぶつかると自分でも局へ走る。(運動の機会を与えてもらうのだ) と感謝の気持で、とぼとぼと歩いてくるが戻つてみると、次に来た郵便物に又急ぎのを見出すことがある。相手の身になると延ばしてもおけない。こうして一日に3回くらい郵便局通いすることもある。外国向けの航空便であると休日などには自動車で本局まで、とばす。運転手君から「もつと溜めておいて一度にお持ちになつたら」と注意さ

れたこともあるが、遅らせておけば、混雜させたり忘れたりもするし、第一速達の意味がなくなる。決して1通や2通で出かけるのではない。唯出席報告の時だけは出来上るとすぐ本局へかけつけることが多い。「誰か頼んだら」と家族はいうが自分の修養は人には頼めない。

勝沼先生が「できるだけ怠けてやりなさい」と言うて下すつたことを今になつてしまじみとありがたく思う。

〔公式訪問日程〕

(二月) 十三日 名古屋南
十四日 名古屋西
十九日 沼津北
廿二日 浜松東
廿五日 豊川

(三月) 二日 下田
五日 伊東
十九日 上野
廿二日 津島
廿三日 一ノ宮
廿五日 名古屋東
廿八日 高山
卅日 下呂

(四月) 三日 四日市
十二日 津
十五日 駒ヶ根
十九日 清水北
廿三日 名古屋
廿六日 岐阜
卅日 浜松

(五月) 二日 一色
六日 松本南



〔第360区1962年11月出席率表〕

地区平均出席率94.18

11月順位	クラブ名	会員数	例会数	出席率(%)	前月順位	11月順位	クラブ名	会員数	例会数	出席率(%)	前月順位
1	沼津	52	4	100.00	1	39	松本	37	4	94.38	28
1	伊東	48	4	100.00	11	40	南津焼	47	4	94.22	35
1	津島	46	4	100.00	1	41	名古屋	51	4	94.12	64
1	豊田	36	5	100.00	1	42	清水	38	4	94.08	49
1	浜松	42	4	100.00	1	43	安城	42	4	94.05	41
1	駒根	40	4	100.00	14	44	桑名	40	4	93.78	46
1	熱海	27	5	100.00	1	45	金沢	74	4	93.55	42
8	沼津	40	4	99.38	1	46	田原	27	4	93.52	67
9	静岡	88	4	99.10	39	47	清水	50	4	93.46	45
10	一宮	66	3	98.98	23	48	大垣	54	4	93.32	44
11	三島	40	4	98.75	19	49	大津	28	4	92.69	25
12	吉原	47	5	98.66	16	50	中小	38	5	92.63	68
13	高岡	47	5	98.57	24	51	砺波	46	5	92.61	52
14	碧南	35	4	98.57	26	52	沢松	41	4	92.31	53
15	熱海	43	3	98.45	1	53	尾西川	82	4	92.27	54
16	多治見	49	4	97.92	10	54	中松	34	4	91.94	51
17	豊橋	48	4	97.88	17	55	大坂	57	5	91.93	56
18	名古屋	82	5	97.78	12	56	阪屋	47	4	91.48	50
19	四日市	74	5	97.59	38	57	名古屋	169	4	91.17	47
20	岐阜	40	4	97.50	14	58	高岡	36	5	91.11	63
21	豊橋	61	5	97.14	13	59	半田	38	4	90.80	60
22	豊川	34	4	97.04	33	60	恵那	47	5	90.64	34
23	蒲郡	45	3	97.04	20	61	瀬戸	32	3	90.56	58
24	岐阜	60	5	97.00	36	62	那賀	36	4	89.59	48
25	瑞岡	41	4	96.95	1	63	谷田	33	4	89.47	59
26	静岡	54	4	96.76	9	64	諏訪	35	5	89.14	55
27	岡崎	45	4	96.67	21	65	西田	37	4	88.52	70
28	岐阜	37	4	96.60	18	66	呂田	47	4	88.33	65
29	濃美	29	3	96.56	57	67	山田	31	3	88.17	71
30	飯田	44	4	96.51	22	68	野田	31	3	88.17	74
31	日市	28	5	96.40	31	69	津田	68	4	87.29	66
32	津	54	4	96.29	27	70	那尾	45	4	86.61	69
33	犬山	39	4	96.16	32	71	尾上	40	4	85.63	72
34	浜松	69	4	95.65	30	72	魚伊	40	4	85.00	62
35	古屋	56	4	95.51	28	73	七	41	5	81.65	73
36	岐阜	71	4	94.92	43	74	合計	38	4	78.84	61
37	古屋	39	4	94.86	39		平均			6968.96	
38	伊勢	57	4	94.74	37					94.18	

国際ロータリー第360区
Rotary International
ガバナー事務所
岡崎市明大寺町向山2
内藤卯三郎
電話(岡崎)1379番